



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: http://www.zenkoukai.or.jp
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を
照らすともしび。

一般社団法人 日本善行会 会員各位

令和二年度理事会及び定時総会の開催についてご連絡

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和二年度の第一回理事会及び第二回理事会は、書面表決による開催となりました。また、定時総会につきましては、会員皆様には、委任状の提出をお願い申し上げます。六月十六日(火)に規模を縮小して開催することになりました。
新型コロナウイルス感染症拡大が全国に広がっていますが、くれぐれも会員皆様、お身体のご自愛をお願い申し上げます。

令和二年度事業計画

令和二年三月二十四日
令和元年度第三回理事
会を開催され、令和二年
度収支予算並びに事業計
画は下記の通り審議承認
された。

令和二年
十一月二十一日(土)
実施場所
明治神宮参集殿 予定

ス」やホームページが果
たしている役割は大き
い。「明るいニュース」の
記事やホームページの充
実を図って、各支部及び
会員との連携の強化に努
める。

1 表彰による 善行活動の推進

本会の善行表彰は、今
年度で春季・秋季善行表
彰は70回目となり、前
年度までの表彰総数は
45,529件に達してい
る。この善行表彰を受
賞した多くの方々は、引
き続き各地で善行活動
実践し、善行の輪を各
域に広げている。
また、春季及び秋季表
彰に加えて、永年にわ
たつて善行を継続してい
る善行表彰受賞者への特
別表彰(金章・銀章表彰)
を昭和37年以降実施
し、これまでに金章受賞
者は320人、銀章受賞
者は1,688人となつ
ている。

2 善行実践活動の推進

善行実践活動は、社会
を明るくする原動力であ
り、会の組織を挙げ、ま
た、地域住民とも連携し
て、これに取り組み、善
行の輪の拡大に努める。

3 長寿善行者の 秋篠宮皇嗣殿下御接見

この事業は、善行表彰受
賞者が、秋篠宮皇嗣殿下
から御接見の栄誉を賜る
意義深いものである。こ
の長寿善行者の御接見
は、昭和四十五年九月に
実現し、皇太子殿下の御
接見が平成三十年まで続
けられ、昨年から秋篠
宮皇嗣殿下から御接見を
賜り、今年度で五十一回
となる。

4 広報啓発活動の充実

情報化時代を迎えた今
日、月刊紙「明るいニユー

5 組織と 財政基盤の強化

本会は、会員によって
構成され、主に会員が拠
出する会費によって運営
されており、会員の増加
が財政基盤の強化に直結
している。
また、事業を効果的に
全国展開するためには、
各都道府県に支部が設置
されることが必要となつ
ている。

6 諸会議の開催

本会の定款に定められ
ている会議には、総会、
理事会及び常務理事会が
ある。また、定款には定
められていないものの、
本会業務の連絡調整の場
として支部長会が設けら
れている。

令和2年度収支予算書

I. 事業活動収支の部		II. 投資活動収支の部	
科目	予算額	科目	予算額
1. 事業活動収入		1. 投資活動収入	
①会費収入	22,800,000	投資活動収入計	0
②寄付金品等収入	2,870,000	2. 投資活動支出	
③雑収入	1,020,000	特定資産取得支出	300,000
事業活動収入計	26,690,000	投資活動支出計	300,000
2. 事業活動支出		投資活動収支差額	△300,000
①事業費支出	26,685,000	III. 予備費支出	
②管理費支出	8,350,000	当期収支差額	△8,645,000
事業活動支出計	35,035,000	前期繰越収支差額	149,400,000
事業活動収支差額	△8,345,000	次期繰越収支差額	140,755,000

(単位:円)

第三回理事会の開催

三月二十四日令和二年
度第三回理事会がグラ
ンドヒル市ケ谷内会議
室で開催された。勝野会
長の挨拶の後、勝野会
長が議長となり議事に
入った。

第一号議案「令和二年度
収支予算並びに事業計
画」について
事務局から説明があ
り、質疑が行われ、原案
どおり議決された。

第二号議案「令和元年度
収支決算並びに事業報
告」について
事務局から説明があ
り、質疑が行われ、原案
どおり議決された。

第三号議案「令和二年度
定期総会の開催」につ
いて
事務局から説明があり、
質疑が行われ、原案ど
おり議決された。

第四号議案「役員改選」
について
事務局から説明があり、
質疑が行われ、原案ど
おり議決された。

第五号議案「春季善行表
彰式」について
会長から、五月十六日
(土)に開催を予定してい
る令和二年度春季・特別善
行表彰式を延期し、十一
月二十一日(土)の秋季
善行表彰式に同時開催と
する提案があり、全員異
議なく承認可決された。

(本会理事 東京都北区長
(当日欠席) 花川與惣太様
より祝電がありました。)

令和元年度

善行川柳年間大賞



選者 東 逸平

【会長賞】

○遅れ来た 配達員を 思いやり

東京都 神鳥谷知己

【講評】

最近、めきめき上達してきた作者の令和元年六月号の掲載
作品を選びました。この作者のもう一遍「親切が 社会の曇
り 磨いてる」のいずれかで悩みました。この標語的な発想
をとるか、目の前に躍動する現実をとるかでした。

【優秀賞】

○盆の入り 一番のりの 墓参り

宮城県 阿部 澄江

【講評】

近頃は形だけの祖先崇拜になりましたね。
お線香の煙がただよってきます。「一番のり」が効いてい
ます。
令和元年十月号掲載作品です。

【優秀賞】

○火の用心 法被がにあう 少年団

大分県 佐藤 満洋

【講評】

令和二年一月号に掲載された作品です。
ちびっ子達に、法被は本当によく似合うんですね。
この句もありのままに口を突いて出た言葉をそのまま書い
ています。
そこが良かったですよ。夜の村を回る少年団の情景があり
ありと浮かんできますよ。と、掲載時に寄せた「評」の通り
です。

【選者より】

今回は選ばれた三作品とも、目の前に起こった現実の
躍動感をどのように仕上げたかを選者の主眼としました。

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの賛助金により運営されております。広く会員を募集しております。